

UCCが縁結び

ハワイ移民を象徴するものの一つに柳行李がある。写真では見たことはあるが実物と対面したことはない。いつかは会いたいと願いをかけていた。

朗報は意外なところからもたらされた。UCC農事調査室の長田光司氏からであった。「日系」コーヒー農家を調査している中で、訪問先の棚にあった「写真を見て驚いた。『安芸郡仁保島村字日宇那 山澤マサ』とあるではないか。当館と同じ田村内、しかも歩いて15分足らずのところが実家である。

島村字日宇那 山澤マサとあるではないか。当館と同じ田村代目、日系3世。今は「コーヒー農園を引き継ぎ専業農家になつたとのこと。

その前の職業はと尋ねるとガラス・アーティストであった。数々の賞を獲得し、この世界では有名な人であった。

柳行李・コナコーヒー・アーティスト。好奇心がこみあげてくる。おさえられない。突撃取材を決心、ハワイ島コナへ飛んだ。

Mr.Wilfred Yoshito Yamasawa

彼はゲートで待つていってくれた。自宅まで3~4分も走つたところに住居と農園があつた。

柳行李の話をして

改めて柳行李の話をして

柳行李の話をして

ハワイ移民を象徴するものの一つに柳行李がある。写真では見たはあるが実物と対面したことはない。いつかは会いたいと願いをかけていた。

朗報は意外なところからもたらされた。UCC農事調査室の長田光司氏からであった。「日系」コーヒー農家を調査している中で、訪問先の棚にあった「写真を見て驚いた。『安芸郡仁保島村字日宇那 山澤マサ』とあるではないか。当館と同じ田村内、しかも歩いて15分足らずのところが実家である。

島村字日宇那 山澤マサとあるではないか。当館と同じ田村代目、日系3世。今は「コーヒー農園を引き継ぎ専業農家になつたとのこと。

現在の持主は行李を持って渡航したマサさんの孫、数えて3代目、日系3世。今は「コーヒー農園を引き継ぎ専業農家になつたことに巡りあつた。希望と願いは持ち続けるものである。

現在の持主は行李を持つて渡航したマサさんの孫、数えて3代目、日系3世。今は「コーヒー農園を引き継ぎ専業農家になつたこと。

その前の職業はと尋ねるとガラス・アーティストであった。数々の賞を獲得し、この世界では有名な人であった。

柳行李・コナコーヒー・アーティスト。好奇心がこみあげてくる。おさえられない。突撃取材を決心、ハワイ島コナへ飛んだ。

柳行李の話をして

元の所有者はハワイアン、ナハレファミリーの奥さんのものでした。

1971~72年頃道路を作り土地を分割しました。このゲートは土地を買った白人が1978年頃、防犯とプライバシー保護のため設置したものでした。我が家は1985年にこの土地を買い住宅を建て「コーヒー農園を作りました。

14~5軒の家がありましたが、現在は30軒に増えています。限られた人達でゲート内に住むことからGated Communityといいます。

このゲートは今も現役で部外者の侵入を防いでいます。

今日は遠く日本、広島から「柳行李」を訪ねて来て下さりありがとうございます。

私の祖父山澤五郎は1890(明治23)年8月に広島県からコナに渡った最初の31人のひとりでした。南コナのホナウナウ地区に入植し、「コーヒー」の苗木を植え「コーヒー栽培農家」として第一歩をふみ出しました。祖母は1902(明治35)年、祖父の呼び寄せにより来布しました。この柳行李はその時に持つて来たものです。

父から「我が家の記念すべき大切な物」として渡されて私が守っています。NHKBS放送の取材を受け、今こうして川崎さんから柳行李ひとつで来たいわ話を聞くと、日本人移民史を証言する貴重な資料であることを改めて認識しました。

「コナ・コーヒー生産地帯はハワイ島の中でも限られています。標高300mから800m位、南北20~40km。この地域は毎日定期的に降雨があり「コーヒー」の木に水やりの必要があります。

海側にある街には全く降りません。不思議な気候の特異な所といえるでしょう。

土の下は火山特有の石だけで水はけが良いことも特徴です。また、島の反対側ヒロ方面からの気象も高い山脈にさまたげられて雨が少なく島の南端から時計回りで吹く乾燥した風が「コナ・コーヒー」に良い影響を与えています。

「コーヒー農家はほとんど日本人移民でした。6000~7000軒あったと聞いています。私のところでは以前は15エーカーの農園がありましたが、栽培に人手を要することからビニシップ財団に借地権部分の土地を返上し、今では兄が3エーカー、私が2/3エーカーの規模で栽培しています。

現在、日系人が經營する農園は100軒以上あるかと思いますが、コナ・ブランドで生産販売しているところは数が少なく20軒もありません。私を含めてこれらの農園は全て個人の所有です。

軒あつたと聞いています。私のところでは以前は15エーカーの農園がありましたが、栽培に人手を要することからビニシップ財団に借地権部分の土地を返上し、今では兄が3エーカー、私が2/3エーカーの規模で栽培しています。

現在、日系人が經營する農園は100軒以上あるかと思いますが、コナ・ブランドで生産販売しているところは数が少なく20軒もありません。私を含めてこれらの農園は全て個人の所有です。

「コーヒー農家はほとんどの日本人移民でした。6000~7000

軒あつたと聞いています。私のところでは以前は15エーカーの農園がありましたが、栽培に人手を要することからビニシップ財団に借地権部分の土地を返上し、今では兄が3エーカー、私が2/3エーカーの規模で栽培しています。

現在、日系人が經營する農園は100軒以上あるかと思いますが、コナ・ブランドで生産販売しているところは数が少なく20軒もありません。私を含めてこれらの農園は全て個人の所有です。

「コーヒー農家はほとんどの日本人移民でした。6000~7000

軒あつたと聞いています。私のところでは以前は15エーカーの農園がありましたが、栽培に人手を要することからビニシップ財団に借地権部分の